

教材活用シリーズ 第129回

☆日図協加盟出版社の発行している教材について、実際の授業における活用例、より効果が得られるポイント（場面・方法）などをご紹介します。

この1冊で、
英語の授業準備く活動く評価まで完結!!

株文溪堂
『英語・外国語活動シート』
3～6年



てしがわら ひろこ
勅使川原 寛子
(株文溪堂 編集部)

○編集方針

—英語の授業を「楽しく」「効率的に」—

外国語活動・英語の授業では、「Let's Try!」や教科書に出てくる新出の表現を、さまざまな言語活動を通して学習していきます。例えば、「What do you want?」という表現を学習する場合には、まず、好みのパフェをつくる場面を設定します。そして、次のような表現を用いて、果物屋さんとお客さんのやり取りを行います。

“What fruit do you want?”
“I want strawberries, please.”

このような言語活動を、児童がより「楽しく」取り組めるように、また、先生方の授業準備を少しでも「効率的に」できるように、教材にできることは何かを追求していった結果、『英語・外国語活動シート』の企画につながりました。

—言語活動をサポートする新しい教材—

研究発表の授業を拝見しているなかで、あることに気づきました。児童が書き込んでいるシートなどの教材のほとんどが、先生がていねいに手作りをされたものだったのです。活動をスムーズに進めるためには、児童が書き込む

シートなどの教材が必要となる場合も多くあります。これまで、授業中の活動に特化した学校用児童向け教材は発行されていなかったため、先生方がこれらの準備に相当な時間をかけられていたことが推測されます。

例えば、先述した「パフェをつくる」活動では、パフェの具材となるフルーツのカードを使用します。それも児童数分、細かく切り離して準備をします。さらに活動場面では、一つ一つのカードを児童が糊で貼るという作業が必要となります。限られた活動の時間が、作業の時間によって短くなってしまうことも考えられます。これらのことからヒントを得て、『英語・外国語活動シート』では、アイスクリームだけがグラスに入ったパフェの台紙シートと、具材のフルーツのシールをセットにして教材化しました。

このように、「言語活動をサポートする新しい教材」という方向性のもと、それぞれの言語活動に最適なシートとなるよう検討しました。



○特長

①教科書の主要な活動にぴったり

3・4年生は「Let's Try!」の活動に、5・6年生は各教科書の活動場面で使用できるように編成をしています。さまざまな言語活動のうち、シートが必要と考えられる活動に限定し、年間十二枚の構成としています。授業の内容に沿って負担なくご使用いただけるボリュームとなっています。

②学習意欲が高まるカラフルな紙面

当たり前のことかもしれませんが、児童の心をつかむためには、「楽しいカラフルな紙面」という要素も重要なポイントとなります。実際に児童にモニター調査を行ったところ、やはりカラフルなデザインやイラストがあることで、活動への意欲が高まるという意見も得られます。



した。細かい点ですが、タイトルまわりのイラストを毎シートで変更するなど、児童を飽きさせない工夫にもこだわりました。

また、カードやポスターなど、制作物を仕上げていく活動も多いことから、作業がしやすいよう、画用紙のような厚紙を使用しています。

③指導に役立つ情報が充実

教科となって間もない英語の授業の進め方は、まだ試行錯誤の部分も多いのではないかと思います。このような環境下でも、先生方にスムーズに活動を進めていただけるよう、各シートには、「活動のねらい」「活動までの準備」「ワンポイントアドバイス」といった教師向けの情報をたっぷり掲載しました。

特に「ワンポイントアドバイス」では、活動

の途中でそれぞれの児童に適切な指導や支援をするための情報を提示しています。さらに、児童から「〇〇は英語で何というの？」などと質問があったときのために、語彙を広げるための情報や外国の文化に関する「豆知識」も掲載しています。児童からの質問に的確な回答をし、よりスムーズに授業のねらいを達成するための情報としてご参照いただきたい

ワンポイントアドバイス	
将来の夢ややりたい職業が明確でない児童については、興味があるもの、おもしろそうだと思うものから選んでもよいことを伝える。	
次の3点については、児童の学習状況や定着状況に応じて、児童どうしてチェックさせることもできる。	
●文末にピリオドをつけているか。	
●単語と単語の間にスペースを空けているか。	
●つづりは正しいか。	
しっかり書くことができている児童や、間違いを直すことができた児童には、Good job! などと教師が声をかけるとよい。	

と考えています。

また、それぞれの活動場面における、観点別の「評価の視点」も掲載しています。日頃の授業のなかで、どのような姿を目標としていくか、評価規準の参考としてご活用いただけます。

教師用付録として、音声CDが付いています。活動前に表現や単語を練習したり、活動内容の理解を深めたりする際にご活用いただけます（音声は、紙面の二次元コードを読み取って再生することも可能です）。

○この一冊で、授業準備から評価までが完結

『英語・外国語活動シート』は、授業準備から評価まで、幅広くサポートする教材となるよう企画・制作を進めてきました。忙しい先生方のお手伝いができる教材として、是非ご活用いただきたいと考えています。2020年度、教科としての英語はスタートを切ったばかりです。楽しく充実した活動と、適切な評価を通して、児童の外国語の力の育成の一助となることを願っています。

評価の視点 知識・技能	● 音声を聞いて学校行事に関する単語を認識できる。
評価の視点 思考・判断・表現	● 小学校での思い出を振り返り、英語で簡単な文章を書いている。 ● 発表するときに絵や写真を効果的に使いながら、相手にわかりやすく伝えている。
評価の視点 主体的に学習に取り組む態度	● 活動に積極的に取り組み、英単語を使おうとしている。 ● 既習表現を思い出し、積極的に話そうとしている。 ● 友だちの発表を聞き、反応しようとしている。

